

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

私達長迫小学校の教職員は、教育公務員としての自覚を持ち、職務に専念します。

- ・優しく(子どもに) ・真摯に(教職員相互に)
- ・誠実に(保護者・地域に)
- ・厳しく(自分自身に)

平成30年度 不祥事根絶のための行動計画

呉市立長迫小学校
作成責任者 校長 横山 眞澄

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修を計画的に行っているが、自分の問題として意識できるような事例研修が少ない ○整理整頓の徹底が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のものとして実感でき緊張感につながるような研修を行う。 ○退校時、職員室や教室の机の上に物を置かない。 ○自教室以外の部屋に、物(学級の物や私物)を長期間置かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員が輪番で、サービス研修の担当者として、研修を行う。 ○長期休業中には、教職員参加型・体験型の研修(ロールプレーやディベートの手法を用いた研修等)を行う。 ○職員室内・机上・机周辺の整理整頓の徹底を行う。 ○長期休業中に、教具室や特別教室等の整理整頓を職員全員で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修に係るアンケートを学期ごとに実施し、不祥事防止委員会で検証を行う。 ○週1回整理日を設け呼びかける。 ○毎月1回以上、管理職が特別教室等も巡回する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○校舎配置の関係で、1フロア1学級という教室配置となる学級がある。 ○単学級のため、教材研究や授業準備を一人で行うことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、全校担任の意識を強める。 ○「報告・連絡・相談・確認」を迅速かつ確実に行い、組織(チーム)で仕事を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の様子や教材研究など話題にした職員室での会話を増やす。 ○分掌部会や低・高学年部会での研修時間を確保し、作業や行事の準備・授業研究等を通して職員間のコミュニケーション量を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の不祥事防止委員会で状況を確認する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を行っているが、これまで、相談窓口を通しての相談を寄せられることがなかった。 ○学級内で起きた児童間のトラブルを解決するために、担任が一人で指導にあたる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○スクールカウンセラーの勤務日の周知を図り、職員以外への相談の場を確保する。 ○隣接学年、または職員室へ応援を頼み、複数で解決方法を考えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校からの通信等で保護者等に繰り返し周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○学級内のトラブルは必ず職員室に伝えて解決に当たる。日常的に隣接学年で学級の課題や状況を把握し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期ごとに児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○毎学期面談を実施する。

